

令和5年度 学校評価（年度）各評価項目コメント用紙

ふるさとを担う「未来大館市民」を育成する学校教育の深化

今年度の
重点

教育目標：なりたい自分を求め、自ら考え判断し、行動する生徒の育成

重点キーワード：「自律と共生」 ～社会へ踏み出す力づくり～

学校評価項目		評価指標	自己評価 A (年度)	学校運営 協議会評 価(年度)	学校評価項目別のコメント		
学校経営の重点	I たくましく やらしいの 心	1	より良い集団生活を 目指す学級活動・生 徒会活動	概 ね 良 好	概 ね 良 好	キャリア講話やボランティアなど、南中学校ならではの活動 が生徒の満足感につながっている。これからも、行事や生 徒会活動を通じて、生徒同士の関わりの中で主体性を伸ば して行ってほしい。	
		2	自己の生き方の探求				
	II 自主 的・自 律的 な生 活	3	安全で規律ある 学校生活	概 ね 良 好	概 ね 良 好	生徒・保護者と職員間の意識の乖離が目立った。しかし、 生徒は自主的・自律的な生活を目指そうという意識はあり、 また、保護者も生徒指導に満足している傾向にある。今後 は、メディアコントロールも含め、目指す生徒の姿を具体的 指標で示し、よりよい生活を目指してほしい。	
		4	生徒理解・生徒支援				
		5	心身の健康の 保持増進				
	III 基 本 的 学 習 習 慣	6	基本的学習習慣	概 ね 良 好	概 ね 良 好	実態に合った家庭学習になっているかという課題がある。P DCAサイクルで主体的に学習を進めるという点では、前期 よりも改善が見られたが、職員の目標が高く、これからの取 組に期待する。また、直耕タイムの充実に向けて様々な取 組がなされているようである。次年度へぜひひつなげてほし い。	
		7	確かな学力				
	IV 保 護 者 の 連 携 ・ 地 域 と	8	情報の受発信	概 ね 良 好	良 好	地域の教材や人材を活用した取組が継続して行われている 。そして、その活動の様子が保護者や地域へ学校報で丁 寧に紹介されていて、よい循環につながっている。今後は、 生徒自身が進んでより広いフィールドで活動する気概を育 ててほしい。	
		9	大館盆地の 教育力の活用				
	学校運営状況	V 組 織 ・ 運 営	10	組織的な学校運営	やや 不 十 分	概 ね 良 好	協働体制による共通実践事項は示されているものの、共通 理解のもと具体的な実践がされているかということ、職員に とっては、前進があまり感じられない、物足りなさ、マンネリ 感を感じる、ということだった。課題となる点に具体的にどう 取り組むのか、今後に期待する。
			11	事務職員との連携			
		VI 教 育 特 色 あ る 活 動	12	特色ある 教育課程の編成	概 ね 良 好	良 好	地域の特色を生かした活動に、生徒の成長を感じるし、実 際に達成感も大きいようだ。ハチ公生誕100年の取組に も、生徒の主体的活動が見られた。
13	学校行事等の計画						
VII 教 師 の 研 修	学校の教育活動の向 上のために、教職員 の研修が活発に行わ れている。	14	授業改善の推進	概 ね 良 好	概 ね 良 好	生徒は学習に対して「頑張っている」という気持ちをもってい るが、先生方には、生徒の声を生かした直耕タイムにしたい、 もっと自信をもって前に出させたいという思いがある。 素直な心はそのままに、授業を通して、生徒をよりたくましく 育てていく方策を探してほしい。	
		15	研修の実施及び活用				

全 体 コ メ ン ト

令和6年1月24日（水）
南中学校 校長室

総合コメント

- ①先生方がよく努力されて、子どもたちはよく育っている。先生たちに相談しやすい雰囲気があり、安心して子どもを任せられると感じる。
- ②これまで一年間、南中と南中生を見てきて「よい」と感じていたことを、今日はヒアリングを通して更に実感できた。保護者からは「南中に入って子どもは成長している」という発言があった。生徒も「ハチ公生誕100年」はよい経験ができたと感じており、続けたいと考えている。授業への取組も改善しようという思いがあった。
- ③学校報は、学校からの一方的な内容ではなく、保護者の思いや願いなども載せられている。中学生のいない家でも、「地域と一緒にみんなで子どもを育てている、見守っている」と感じられる。温かくほっこりする学校報をいつも楽しみにしている。地域や家庭と学校とをつなぐ大切な架け橋となっている。
- ④南中生はとてもいい子。素直で純朴、お互いによく分かっている間柄で、もめ事もほとんどない。その反面、現在の世界の中で完結しているようなところがあり、引っ込み思案で人前に出ることを避けるような気質を感じる。外の世界、大人数のところに出た時に、少し心配な面もある。この地区の気質を、よい方に生かして広い世界でも活躍できる子どもを育てていきたい。
- ⑤先生たちは、アンケートの数値が下がっている部分をきちんと課題として認識し、しっかり取り組もうとしていることが分かる。共通理解し、具体的な共通実践を期待する。

南学区学校運営協議会〈中学校部会〉委員

松田 誠行

虻川 幸雄

浅利 浩

菊地 久美子

中村 勝則

田村 直子